

医学図書館 ニュース

No.608 2023 October



開館カレンダー

10月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

8:30-22:00

10:00-20:00

休館日

人生を変えた本

感染医学講座 小椋 義俊

私の人生に最も大きな影響を及ぼした本は野口英世博士の伝記である。高校2年生の頃、大学進学の意味はなく、ぼんやりと料理人にでもなろうかなと考えていたのだが、たまたま読んだ少年漫画雑誌に掲載された野口英世物語が妙に心に残った。その後、あまり入ることがなかった学校図書館で野口博士の伝記を見つけた。その内容はさらに衝撃的なものであった。それまで特に苦労なく、努力もすることもなく生きてきた自分とは全く異なる生き様を見せつけられた。その頃から、自分も何かに夢中になりたい、細菌学をやってみたいと思うようになったのをよく覚えている。医師になる道は選ばなかったが、最短距離で細菌学者になる目標を実現できたのは、自分なりに努力もしたが、いくつもの幸運なめぐり合わせによるものであった。大学院で博士号を取得後に宮崎医科大学医学部の助手として病原菌の研究を始めた頃、野口博士が千円札の肖像画に選ばれた。その時は何か運命的なものを感じてとても感激した。

それから20年が経ち、千円札の肖像画が変更となる。野口博士の千円札がなくなるのは寂しいが、次に選ばれたのはなんと「日本細菌学の父」とも呼ばれる北里柴三郎博士である。高校生から細菌学者を目指していた自分としては、この決定は大変嬉しかった。そもそも北里博士は野口博士の恩師であり、より多くの実績を挙げられている。なぜ、先に野口博士が選ばれたのであろうか。北里博士の政治的な活動が選定に影響したという意見もあるが、おそらく野口博士の幾多の逆境も跳ね除けて人類のために命を捧げた姿に多くの国民が感動し、誇りに思われているからであろう。それにしても、北里博士は頑固一徹な性格と学事至上主義が影響してか功績が正当に評価されていない部分もある。ドイツ留学を手助けしてくれた東大の師匠の脚気菌説を否定する論文を発表し、恩知らずと批判されようと一向に頓着しなかった。そのとき北里博士は、「生は情を忘れたるものに非ず。私情を制したるものなり。」との文章を公表しているものの、東大派を完全に敵に回してしまった。北里博士の発明した血清療法で弟子のベーリング博士がノーベル賞を受賞し、ペスト菌の学名は北里博士に遅れて発見したイェルサン博士の名前が使われるなどの不運も東大派との軋轢が少なからず影響しているといわれている。また、自身が概要を掴みながらも弟子の志賀潔博士に赤痢菌の研究を指示し、見事に発見に至った際は、部下の成果を横取りしてはならないと論文に自分の名前を入れさせていない。恩師であるコッホ博士の座右の銘「しばしも怠ることなかれ」を生涯に渡って体現した北里博士は、忖度してまで名誉を得ることを求めていなかったのであろう。私としては、ぜひこの機会に北里博士の伝記を読むなどしてその偉大な功績を皆様に振り返ってもらいたい。そして少しでも細菌学に興味を持つ研究者が増えることを願っている。



10月・11月の休館情報



10月・・・9日(月)

11月・・・3日(金) 23日(木)



マイライブラリを是非ご活用ください

マイライブラリでは借りている資料の延長手続きのほか
複写や貸出予約の資料の状況の確認が出来ます。

とても便利な機能となっておりますので、情報収集等にお役立てください。

*日曜日～木曜日の午前0時～午前4時頃まで、夜間メンテナンスのため利用できません

マイライブラリで出来ること

- ・借りている資料の延長手続き
(貸出期間内に2回延長)
- ・図書館からのお知らせ確認
(返却のお願いや依頼資料の到着のお知らせ)
- ・借りた資料の履歴
- ・OPAC 検索でブックマークした資料の
リスト管理
- ・複写や貸出予約の資料の状況の確認

